2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上場会社名　ラオックスホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8202　URL https://www.laox.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長ＣＥＯ　(氏名) 羅　怡文
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員グループ管理統括室長 (氏名) 谷口　真隆　TEL 03-5405-8088

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	38,770	△1.8	△1,287	―	△1,148	―	△1,239	―
2025年12月期第3四半期	39,470	△8.3	△1,154	―	△1,276	―	△1,503	―

(注) 包括利益　2026年12月期第3四半期　△1,222百万円　(―%)　2025年12月期第3四半期　△1,497百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	△13.55	―
2025年12月期第3四半期	△16.45	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	37,279	21,195	56.8
2025年12月期	42,414	22,686	53.5

(参考) 自己資本　2026年12月期第3四半期　21,185百万円　2025年12月期　22,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	―	―	3.00	3.00
2026年12月期	―	―	―		
2026年12月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年 1月 1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	0.8	650	841.9	630	1,687.3	630	―	6.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期3Q	93,335,103 株	2025年12月期	93,335,103 株
② 期末自己株式数	2026年12月期3Q	1,918,986 株	2025年12月期	1,918,896 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期3Q	91,416,142 株	2025年12月期3Q	91,416,375 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー ： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(セグメント情報等の注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益の底堅い推移を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続による消費者マインドの低下懸念、為替相場の変動などに加え、中国からの訪日需要の回復に引き続き時間を要している事から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「豊かで多様なライフスタイル“Global Life Style”の提案とその進化・創造の支援」という経営理念のもと、市場変化への対応力向上に向けた経営基盤の強化に取り組んでまいりました。また、グループ各社のシナジー創出による企業価値の向上を図るとともに、事業構造改革の推進や成長分野への投資を進め、持続的な収益力の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の連結業績は、売上高38,770百万円（前年同期比1.8％減）となりました。営業損失は1,287百万円（前年同期は1,154百万円の損失）、経常損失は1,148百万円（前年同期は1,276百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は1,239百万円（前年同期は1,503百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（ギフトソリューション事業）

当事業セグメントにおきましては、主に贈答用洋菓子や雑貨、生活関連用品の販売、ならびに物流・ECサイト運営・コールセンター運営などの各種サービスを提供しております。当第３四半期連結累計期間においては、既存得意先におけるフォーマルギフト需要の低迷による売上減少の影響が続いたものの、法人・官公庁向け案件の拡大、ブライダル領域における協業の推進などに取り組みました。また、商品構成の見直しによる粗利率の改善など、収益力の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は22,919百万円（前年同期比0.5％減）となり、セグメント利益は386百万円（前年同期比28.9％増）となりました。

（リテール事業）

当事業セグメントにおきましては、免税店舗では、中国からの訪日需要の回復が引き続き鈍い状況となりましたが、高付加価値商品の展開強化や商品構成の見直しを進めるとともに、国内外顧客の多様なニーズへの対応に努めました。

一方、国内顧客を主な対象とするアパレル店舗では、商品ラインナップの拡充や販売施策の強化を進めるとともに、冬物衣料の初動販売が好調に推移したことから、買上率および客単価が堅調に推移し、EC売上高も引き続き伸長いたしました。さらに、既存店の改装や売場環境の改善を進め、ブランド認知度の向上および顧客接点の拡大に取り組み、収益力の強化を推進いたしました。これらの施策により、免税店舗の減収影響を補うには至らなかったものの、アパレル店舗の伸長がリテール事業全体の業績を下支えいたしました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は14,806百万円（前年同期比0.3％減）となり、セグメント損失は611百万円（前年同期は624百万円の損失）となりました。

（トレーディング事業）

当事業セグメントにおきましては、中国における仕入体制の強化を進めるとともに、グループ各事業への海外商材の導入拡大に向けた取り組みを継続いたしました。また、中国国内で展開する日本料理店では、季節メニューの導入や販促施策の実施に加え、イベント会場としての活用促進にも取り組み、顧客接点の拡大に努めました。

一方で、既存事業の収益回復には引き続き時間を要しているほか、将来の事業拡大を見据えた体制整備や新規事業創出に向けた先行投資を継続したことなどから、当第３四半期連結累計期間の売上高は154百万円（前年同期比19.1％減）、セグメント損失は92百万円（前年同期は18百万円の損失）となりました。

（アセット・サービス事業）

当事業セグメントにおきましては、商業施設物件の仲介業務およびグループ企業が保有する不動産の管理業務を行っております。当第３四半期連結累計期間においては、管理する商業施設におけるテナント誘致活動を継続するとともに、新規案件の開拓に取り組みました。また、グループ企業が保有する遊休不動産については、資産効率の向上を目的として整理・売却に向けた検討を継続しております。

以上の結果、一部物件の契約満了や保有資産構成の変化等により、当第３四半期連結累計期間の売上高は890百万円（前年同期比35.8％減）となり、セグメント利益は110百万円（前年同期比49.7％増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、37,279百万円（前連結会計年度末42,414百万円）となりました。これは主に、棚卸資産が760百万円増加したものの、現金及び預金が2,141百万円、受取手形及び売掛金が4,226百万円減少したことによるものであります。

（負債）

負債合計は、16,084百万円（前連結会計年度末19,728百万円）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,608百万円、電子記録債務が336百万円、流動負債その他が237百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は、21,195百万円（前連結会計年度末22,686百万円）となりました。純資産の減少は、主に、親会社株主に帰属する四半期純損失1,239百万円を計上したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

リテール事業の免税店舗において、中国からの訪日需要の回復が引き続き鈍い状況にあり、先行きは不透明な状況が続いておりますが、高付加価値商品の展開強化や新規商品導入などに取り組んでおります。一方で、ギフトソリューション事業及びリテール事業のアパレル店舗においては、歳暮需要やクリスマス商戦の影響により、第４四半期連結会計期間の売上高が他の四半期と比べて増加する傾向にあります。当社グループでは、こうした需要期における販売機会の拡大に向けた営業活動の強化及び継続的なコストコントロールに取り組んでおり、現時点においては2026年２月13日公表の連結業績予想の達成に向けて概ね計画どおりに推移しております。

ただし、第４四半期連結会計期間の業績は、年末商戦における販売動向や消費環境等の影響を受けることから、今後の需要動向によっては、通期業績が当初の想定を下回る可能性があります。 引き続き各事業の販売動向及び収益状況を注視し、業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

なお、本資料に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的と判断した前提に基づいており、様々な不確定要因により実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,962	6,821
受取手形及び売掛金	11,853	7,627
棚卸資産	7,037	7,797
その他	3,835	4,006
貸倒引当金	△212	△198
流動資産合計	31,475	26,053
固定資産		
有形固定資産	5,651	5,708
無形固定資産	848	759
投資その他の資産		
その他	7,858	8,152
貸倒引当金	△3,436	△3,407
投資その他の資産合計	4,421	4,744
固定資産合計	10,921	11,212
繰延資産	17	13
資産合計	42,414	37,279

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,081	4,472
電子記録債務	1,506	1,170
短期借入金	2,550	2,546
未払法人税等	92	40
引当金	195	126
その他	4,395	4,157
流動負債合計	15,820	12,513
固定負債		
長期借入金	439	449
引当金	69	43
退職給付に係る負債	794	766
資産除去債務	646	572
その他	1,957	1,737
固定負債合計	3,907	3,571
負債合計	19,728	16,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	14,628	14,353
利益剰余金	9,821	8,587
自己株式	△2,419	△2,419
株主資本合計	22,129	20,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22	△4
為替換算調整勘定	569	568
その他の包括利益累計額合計	546	563
新株予約権	10	10
純資産合計	22,686	21,195
負債純資産合計	42,414	37,279

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	39,470	38,770
売上原価	26,102	26,358
売上総利益	13,368	12,412
販売費及び一般管理費	14,523	13,699
営業損失（△）	△1,154	△1,287
営業外収益		
受取利息	17	13
為替差益	－	77
持分法による投資利益	－	46
消費税差額	8	－
その他	18	41
営業外収益合計	45	178
営業外費用		
支払利息	6	14
為替差損	102	－
持分法による投資損失	12	－
支払手数料	7	－
その他	38	24
営業外費用合計	167	39
経常損失（△）	△1,276	△1,148
特別利益		
契約損失引当金戻入額	61	－
その他	8	16
特別利益合計	69	16
特別損失		
固定資産除却損	163	1
減損損失	20	－
店舗閉鎖損失	－	12
特別退職金	－	11
システム移行関連損失	－	50
事業再編損	69	－
その他	40	10
特別損失合計	293	86
税金等調整前四半期純損失（△）	△1,501	△1,218
法人税等	2	20
四半期純損失（△）	△1,503	△1,239
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,503	△1,239

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△1,503	△1,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	17
為替換算調整勘定	6	△0
退職給付に係る調整額	△4	－
その他の包括利益合計	6	17
四半期包括利益	△1,497	△1,222
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,497	△1,222

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ギフトソリューション事業	リテール事業	トレーディング事業	アセット・サービス事業			
売上高							
外部顧客への売上高	23,043	14,850	190	1,386	39,470	－	39,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	374	25	31	256	688	△688	－
計	23,418	14,875	221	1,643	40,159	△688	39,470
セグメント利益又は損失（△）	300	△624	△18	73	△269	△885	△1,154

（注）１　セグメント利益の調整額△885百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△873百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

２　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．固定資産に係る重要な減損損失

リテール事業において、店舗設備の減損損失として20百万円を計上しております。

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ギフトソリューション事業	リテール事業	トレーディング事業	アセット・サービス事業			
売上高							
外部顧客への売上高	22,919	14,806	154	890	38,770	－	38,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	329	5	25	120	481	△481	－
計	23,248	14,811	179	1,011	39,251	△481	38,770
セグメント利益又は損失（△）	386	△611	△92	110	△205	△1,081	△1,287

（注）１　セグメント利益の調整額△1,081百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,078百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

２　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	599百万円	561百万円
のれんの償却額	12百万円	17百万円